

第1学年1組【主題名】「よく かんがえよう」
【内容項目】A 善悪の判断、自律、自由と責任
【教材名】「あなたなら、どうする？」

《ねらい》
 自分のことだけでなく他の人のことも考えて、わがままをしない生活をしようとする心情を育てる。

《授業の工夫・改善》
 挿絵のかぼちゃを掲示し、かぼちゃの表情から気持ちを想像させて授業を進めた。また、今まで人の意見を聞かずにわがままな行動ばかりをしていたかぼちゃが痛い目をみってしまう場面を授業の山場として設定した。

《児童の反応》

- 挿絵の表情を見て、かぼちゃの気持ちを自分に置き換えて考えていた。
- つるを車にひかれてしまったかぼちゃの姿から「周りの人の意見を聞いておけばよかった。」「自分が困る結果になった。」「みんなに謝りたい。」という意見が出た。
- 友達の注意は素直に聞こうと、自分の生活につなげて考えることができた。



第2学年1組【主題名】「みんないっしょに」
【内容項目】C 公正、公平、社会正義
【教材名】「およげない りすさん」

《ねらい》
泳げないからとりすさんを最初は仲間外れにしてしまった動物たちの心の変化を考えるを通して、誰にでも分け隔てなく接しようとする心情を育てる。

《授業の工夫》
 4匹の動物たちを紹介し、得意なこととできないことがそれぞれあることを確認した。意地悪をしたつもりはなくても、知らず知らずのうちに相手を傷つけてしまうことがあることに気付けるように、場面絵の3人の表情から考えるようにした。「みんなが楽しく仲良くするためにどうしたらいいか」自分たちの生活につなげて考えさせ、二人組で自分の考えを伝え合い、考えを深められるようにした。

《児童の反応》

- 仲良くするためには、相手の気持ちをよく考えてそのためにどうするかの方法を考えたいと思います。
- みんなが楽しく仲良くするためには、しっかりと考えてから意見を言うようにしたいです。きめつけないように気を付けたいです。悪いことを言わないで、みんなが悲しくならないように工夫します。



第3学年1組【主題名】「友情、信頼」
【内容項目】B 友達と助け合って
【教材名】「友だちやもんな、ぼくら」

《ねらい》
ヒデトシを助けるために戻った「ぼく」とマナブの気持ちを考えるを通して、友達と互いに理解し、信頼し、友情を深めていこうとする心情を育てる。

《授業の工夫》
 発問により教材の内容を丁寧に確認し、教材文の理解を深めるとともに、発言の機会を増やすことで全員が発言できるようにした。心の物差しを使って心情を数値化し、三人の心情の変化に気付くことができるようにした。

《児童の反応》

- 試合で負けてみんなで励まし合った時、友達がいてよかったと思いました。
- 友達が味方になってくれていいなと思いました。
- 友達と助け合いたいです。
- これから、友達を大切にしたいです。
- これから、友達が迷っていたら、教えてあげたいです。



第1学年2組【主題名】「あたたかい ところで」
【内容項目】B 親切、思いやり
【教材名】「すてきな まほうつかい」

《ねらい》
相手に親切にすることで、友達を増やすことができた喜びを通じて、身近にいる人に温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。

《授業の工夫・改善》
 教材を読む前に、今回のキーワードである「親切」について理解できるよういくつかの絵の中から親切な部分を見つける活動を行った。また、教材に出てくる女の子が友達に親切にされた時の気持ちを考えたり自分自身が誰かに親切にされた時の気持ちを振り返ったりする活動を通して親切のよさを実感できるようにした。

《児童の反応》

- 誰かに親切にされると、「心がぽかぽかする」「しあわせ」「うれしい」「気持ちがいい」
- 親切にされた人だけでなく、した人もうれしくなる。



第2学年2組【主題名】「みんながつかうもの」
【内容項目】C 規則の尊重
【教材名】「わすれられたしらゆきひめ」

《ねらい》
忘れられていたゴムボールとしらゆきひめの本の気持ちを考え、きまりを守ることの大切さを理解し、みんなが使う物を大切にしようとする心情を育てる。

《授業の工夫・改善》
 教材を読む前に実際にクラスのもので片付けられていなかったほうきや本の写真を見せ、題材をより身近に感じさせ授業への関心を高めた。役割演技を取り入れ、乱暴に扱われた物の立場になりきり、またその様子を見ることで自分自身の行動を振り返るようにした。

《児童の反応》

- ほうきや、つくえなどみんなのものをきずつけないように大切に扱いたかったです。
- 使ったものはみんなのためにちゃんとあつた場所に戻したいと思いました。
- ものを大切に元場所に戻してみんなのことやつくった人のことをよく考えるとよいと思います。



第3学年2組【主題名】「家族を思う」
【内容項目】B 家族愛、家庭生活の充実
【教材名】「ブラッドレーのせいきゅう書」

《ねらい》
母の無償の愛に気付き涙したブラッドレーを通して、家族みんなで協力し合っ楽しい家庭をつくらうとする態度を養う。

《授業の工夫・改善》
 教材を読む前に、「普段しているお手伝いは何か、どのような気持ちでお手伝いをしているか」を考えることで、児童の生活と教材が結びつきやすいうようにした。ブラッドレーの心情の変化について、「家族のために」という心情に至ったことに気付くことができるよう工夫した。「家族のために自分は何がしたいか」を自分で考え、家族とのかかわり方について考えられるようにした。

《児童の反応》

- 家族が楽しく過ごせるように、すすんでお手伝いをしたいです。
- 自分の家では、役割分担をしています。これからもお手伝いをして、できることを増やしていきたいです。
- これからは、家族のことを考えてお手伝いをしていこうと思いました。



第1学年3組【主題名】「みんなの えがおのために」
【内容項目】C 勤労、公共の精神
【教材名】「えがおに なれるね」

《ねらい》
仕事をがんばったことで、クラスのみんなが笑顔になれる様子から、自分の役割ややるべきことをきちんと果たそうとする実践意欲と態度を育てる。

《授業の工夫・改善》

- 学級での当番、係活動を開始したところであり、自分の活動を具体的にイメージし、本教材に関心をもてるような学習時期を設定した。
- 係活動や当番活動でがんばったことが、クラスのどのような笑顔につながるのかを4パターンのイラストで掲示し、自分の仕事と、それが誰かの役に立っていることをつなげて考えられるようにした。

《児童の反応》

- 黒板がきれいだと気持ちがいいです。
- 給食当番のおかげでおいしく給食が食べられます。
- みんなで協力して仕事をすると笑顔になります。



第2学年3組【主題名】「おたがいにきもちよく」
【内容項目】B 礼儀
【教材名】「どちらが すてきかな？」

《ねらい》
挨拶や言葉遣い、態度について、具体的な事例を想起し、正しい言葉遣いや礼儀正しい態度が誰のためにあるのか考える。そこから、礼儀正しい態度を取ろうとする実践意欲と態度を育てる。

《授業の工夫・改善》

- ①主題に関すること（正しい態度とクラス内で解釈）を自分たちの身近な生活場面から想起する。（具体化）
- ②それぞれの児童の意見から、共通的な内容を考える。（一般化）
- ③正しい態度は相手のため（一般化された内容）を確認する。
- ④一般化された内容が、①で出された意見の他に、どのような場面があるか自分なりの考えをもつ。（具体化）

《児童の反応》

- 挨拶をされた後に、しっかり挨拶するのは、相手が嬉しくなるからだと思う。
- 相手のことを考えて、正しい態度を取るようにしたい。



第3学年3組【主題名】「本当の強さとは」
【内容項目】A 善悪の判断・自律・自由と責任
【教材名】「よわむし太郎」

《ねらい》
太郎の行動を考えるを通して、正しいと判断したことは、自信をもって行おうとする態度を養う。

《授業の工夫・改善》
 教材を読む前に「強さとはどういうことか」を考えることで、児童の関心を高めて学習に入った。主人公が勇気を出して自分の正しいと思う行動をする場面では、考える時間を設け、太郎の気持ちになって思いを巡らせることができるよう工夫をした。また、挿絵を用いて教材文の内容を丁寧に確認することで、より考えを深められるようにした。

《児童の反応》

- 自分がよくないと感じたことは、頑張って注意をすることができたので、これからも続けていきたいです。
- ほかの人が良くないことをしていても、真似をしませんでした。正しいことをするとすっきりとした気持ちになることができました。



**第4学年1組【主題名】「本当の友達」【内容項目】D友情、信頼
【教材名】「絵葉書と切手」**

《ねらい》 友達の過ちを伝えようか迷うひろ子の気持ちを通して、互いに信頼し、助け合い、友情を深めていこうとする態度を養う。

《授業の工夫・改善》

切手の料金が不足していることを、「自分だったら」手紙に書くかどうか考えることを通して、問題を自分事として捉えられるようにした。また、話し合いの後には、友達の考えをもとにもう一度書くか書かないかを考えさせることで、自分の考えを深める機会を設けた。授業の最後には「友達を思うとは」について考え、友達について考える機会を設けた。

《児童の反応》

- 友達のことを思うのはいいなと思いました。これから、友達のことを助けるなど、大切にしていきたいです。
- 友達のことをいろいろ考えるのが大切だと学びました。
- どうすることが友達にとって一番いいのか考えることができました。



**第4学年2組【主題名】「希望をもって」
【内容項目】A希望と勇氣、努力と強い意志
【教材名】「ゆめに向かってジャンプ！」**

《ねらい》 パラリンピック選手・佐藤真海さんの生きる力を知ることを通して、自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり遂げようとする心情を育てる。

《授業の工夫・改善》

教材を読む前に、佐藤真海さんの陸上競技の映像を視聴させ授業への関心を高めた。また、教科書のイラスト以外にも写真を準備し、心情に訴える工夫をした。終末では、同じくスポーツ選手の池江璃花子さんの動画を紹介し、決めた目標に向かって、粘り強く取り組むことの大切さを認識させた。タブレットに全員が意見を投稿し、読み合うことで互いの意見や気持ちを知り、自分の考えを深めた。

《児童の反応》

- 私は運動会の練習を頑張っています。間違えても繰り返して何回も練習していきたいと思いました。
- 習い事でサッカーを頑張っています。教えてもらったことを忘れずに練習していこうと思います。



**第4学年3組【主題名】「大切な友達」【内容項目】D友情、信頼
【教材名】「泣いた赤おに」**

《ねらい》 心が通じ合う赤おにと青おにの姿を通して、互いに信頼し、友達と理解し合おうとする心情を育てる。

《授業の工夫・改善》

教材を読む前に、自分の100点満点の友達とはどんな友達か問うことで自分のこととして考えられるよう工夫をした。また、教科書の内容の2枚の表情違う主人公の絵を提示し、教材への興味を高めた。友達について考えさせる場面では、「青おにか人間どちらと友達になりたいか。」ということ問うことで全員が自分の考えを書くことができるようにした。タブレットを使用し、友達の考えと自分の考えを比べる場面を設定したことで互いの意見や気持ちを知り、自分の考えを深めた。

《児童の反応》

- 友達が悩んでいる場面があったら、一緒に考え、励ましたい。
- 困っていたら声を掛けたい。
- 友達のことを考え、自分が友達のためにできる行動をしたい。



**第6学年1組【主題名】「命を守りぬく」【内容項目】D生命の尊さ
【教材名】「命をつなげ！ドクターヘリ」**

《ねらい》 一つの命を守るために力を尽くす多くの人々の活動や世界情勢の学習を通して、生命がかけがえのないものであることを理解し、生命を大切にしようとする心情を育てる。

《授業の工夫・改善》

教材を読む前に、ドクターヘリ出動のドキュメンタリー映像を視聴させ授業への関心を高めた。また、教科書のイラスト以外にも写真を準備し、心情に訴える工夫をした。終末では、最近の新聞記事を紹介し、命を守ることが現実の問題であることを認識させた。タブレットに全員が意見を投稿し、読み合うことで互いの意見や気持ちを知り、自分の考えを深めた。

《児童の反応》

- 命は、とてもデリケートで、少しでも助けるのが遅れたり、うまくいかなかったりしたらなくなってしまうことが分かりました。私も将来、他の人の命を助けることに関わる仕事がしたいです。
- 女の子の命を救うために大勢の人達が関わって、心を一つにして助けようとしている姿に、特に命の大切さを感じました。一人一つしかない命を大切にしていきたいです。



**第5学年1組【主題名】「差別を乗り越えて」
【内容項目】C公正 公平 社会正義
【教材名】「マリアン・アンダーソン」**

《ねらい》

自らの才能によって人種差別を乗り越えたマリアン・アンダーソンの生き方について考えることを通して、差別や偏見に向き合い、社会正義の実現について考えようとする実践意欲と態度を養う。

《授業の工夫》

差別とはどういうことかを問うことから始めた。差別がいけないことは誰もが分かっていることであるため、今回はそれを登場人物がどうやって乗り越えたか、その生き方に注目することを伝えた。また、その当時の黒人差別の様子や、マリアンは100年に1度の素晴らしい歌手であるエピソードも付け加え、どんなにひどい状況乗り越えたのか、心情に訴える工夫をした。途中、友達と伝え合うことで、自分の考えを広げたり深めたりした。

《児童の反応》

- 「社会正義を実現させるために大切なこと」
- 周りに流されずに正義をつらぬくこと。
- 差別をなくすという思いを持ち続けること。
- 自分が良くないと思うことは相手にしないこと。
- あきらめない気持ちをもつこと。
- みんなが差別やいじめはいけないことだと分かるように教え、されている人に寄り添うこと。



**第5学年2組【主題名】「ルールとマナー」
【内容項目】C規則の尊重
【教材名】「ふくらんだリュックサック」**

《ねらい》

山で出会った親子連れの行動と、それによって変容した「わたし」の気持ちを考えることを通して、公共の場のきまりを守ることの意義を考え、自分の義務を進んで果たそうとする態度を養う。

《授業の工夫・改善》

ルールとマナーが何のためにあるかを問うことから始めた。誰もが安全に気持ちよく過ごすためであるということをおさえた上で、登場人物の考え方の変化に注目することを伝えた。また、ごみを拾おうと考えが変わった親子連れの父親の言葉を中心に考えたことで、ルールやマナーの意味について考える工夫をした。途中には友達との意見の伝え合いや全体での共有を通して、自分の考えを広げたり深めたりした。

《児童の反応》

- 「公共の場所で気を付けること」
- みんなが使う場所はよごさないようにすること。
- みんなが気持ちよく使えるように意識すること。
- みんなが使うものを丁寧に扱い、みんなが使いやすいようにすること。
- きまりやルールを守ることたくさんの方が安全に気持ちよく使えると思う。



**第6学年2組【主題名】「差別や偏見のない社会」
【内容項目】C公正、公平、社会正義【教材名】「さわってごらん、ぼくの顔」**

《ねらい》

藤井さんの実話から、差別や偏見のない社会を目指し公正・公平に接しようとする態度を養う。

《授業の工夫・改善》

教材を読んだ後に、藤井さんのように病気や障害の正しい知識を広めようとしている人の写真を提示し、日本だけでなく世界中で、いじめや偏見に苦しんでいる人がいることを紹介した。

《児童の反応》

- 思ったことをすぐに言葉で表現せず、「これを言ったら相手はどう思うか。」「自分だったらどう思うか。」を考えるようにしたいです。
- 見た目や噂話などで相手を決めつけず、実際に話したり質問したりして相手のよさを見つけることができる人になりたいです。
- 間違った情報を鵜呑みにしてしまわないように、正しい知識を身に付けることが大切だと感じました。



**特別支援学級5組 Aグループ【主題名】「約束やきまりを守る」
【内容項目】C規則の尊重 【教材名】「じゃんけんあそび」**

《ねらい》

社会の約束やきまりを守り、みんなで仲よくしようとする態度を育てる。

《授業の工夫》

本資料では、どんじゃんけんをしている児童が、負けたにもかかわらず、相手を台から突き落として勝ちを喜んでいる。本時では、まず教材を読む前に、ケンステップを使ってどんじゃんけんを体験させることで、ルールの理解や授業への関心を高めた。また、電子黒板でイラストを拡大するとともに、同じイラストを黒板に掲示することで、イラストの様子を分かりやすくした。終末では、もう一度どんじゃんけんをして、ルールを守らなければ、みんなが楽しくないことを確かめた。

《児童の反応》

- みんな 楽しく遊べたでしょうか。
- ずるいことをしているから、楽しくないよ。
- 男の子がルールを守らないから、楽しくない。
- 自分は、約束やルールを守る ●けんかをしたらだめ。



**特別支援学級5組 Bグループ【主題名】「やり抜く心」
【内容項目】A勤勉・努力 【教材名】「なまけにんじゃ」**

《ねらい》

なまけようとする心に負けないで、よいと思ったことをやり抜く心育てる。

《授業の工夫・改善》

導入では、副主題の「それはもうひとりのぼく」を知らせないで、授業の途中で、児童がそれに近い内容の発言をした時に板書をする工夫をした。自分の生活を振り返らせ、自分の心の中にも「なまけ忍者」がいることを思い出させた。これから運動会や連合移動教室があることを話し、なまけ忍者に勝ち、最後までやり抜こうという気持ちにもっていった。

《児童の反応》

- 「なまけにんじゃ」は、だらだらしている忍者だと思う。
- 「ぼく」は「なまけにんじゃ」にささやかれてどうしようという気持ちになった。
- 宿題はやらないと困ることは分かっているけど、やりたくないと思う時がある。
- 「なまけにんじゃ」をやっつけたい。



**特別支援学級5組 Cグループ
【主題名】「ゆずり合う心」【内容項目】B礼儀
【教材名】「江戸しぐさ」**

《ねらい》

人と人が気持ちよく生活し合うためには、相手のことを考えた行動をとる大切さがわかり、普段の生活の中でゆずり合う心をもった態度で過ごそうとする心情を育てる。

《授業の工夫・改善》

画像を多数用しながら、本時の学習内容や「しぐさ」の具体的な様子が捉えやすいようにした。また、ロールプレイ（役割演技）をいれながら、児童が実感としてゆずり合う態度を体験できるようにした。さらに、意図的によい例・よくない例を提示し、対比させる場面を作ることで、よさを際立たせる工夫を行った。

《児童の反応》

- 「肩引き」や「こぶし浮かせ」を知っておもしろかったです。
- これから、「傘かしげ」をやってみたいです。
- 人の気持ちを考えて行動することは大切だと分かりました。



新型コロナウイルス感染症防止のため、地域や保護者の皆様にご来校いただき、授業を参観していただくことは残念ながらできませんでした。そこで、授業の概要をリーフレットにまとめ、ご紹介させていただきます。

なお、保護者の皆様には、お子様のタブレット端末にて授業動画をご視聴いただき、アンケートに回答くださり、どうもありがとうございました。